



2021年8月13日

各位

会社名 ラオックス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 飯田 健作  
(コード番号 8202 東証第2部)  
問合せ先 コーポレート統括本部副本部長 佐藤 学  
(TEL 03 - 5405 - 8859)

## 国内リテール事業における一部地域の店舗閉店に関するお知らせ

当社は、2021年8月13日開催の取締役会において、国内リテール事業における一部地域の店舗閉店について決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 店舗閉店の理由

世界的に感染が再拡大している新型コロナウイルスの影響によって、国内リテール事業の主要顧客であった中国からの訪日旅行客が入国できない状況が継続していることに加え、中国以外の国からの訪日旅行客の回復も目途が立っていない状況が長期化しております。このような状況の中、当社グループでは、国内リテール事業の一時休業店舗等に係る収益への影響を軽減すべく対処してまいりましたが、この度、より一層のコスト削減とキャッシュフロー改善を図るべく、全13店舗(休業中3店舗を含む)のうち、東京、近畿の一部店舗の計7店舗の閉店を決定いたしました。

今後、更なる収益の改善に向けて、7月のオープンから好調に推移している京都河原町 OPA 店をはじめとして、国内のお客様にお買い物を楽しんでいただけるよう、ラオックスグループの商品調達の強みを活かしたアジア食品・アジアコスメ・アジア雑貨等の品揃えの強化を図るとともに、ECの強化等も進めてまいります。

#### 2. 対象エリア・閉店店舗

東京3店舗、近畿4店舗(計7店舗)

エリア	現店舗数	閉店後店舗数
北海道	1店舗(休業中1店舗を含む)	1店舗(休業中の1店舗を含む)
東京	6店舗	3店舗
近畿	6店舗(休業中2店舗を含む)	2店舗(休業中の1店舗を含む)

#### 3. 連結業績予想への影響

上記に伴う連結業績予想への影響につきましては、当第2四半期連結会計期間(2021年4月1日～2021年6月30日)において、たな卸資産評価損として722百万円を特別損失に計上しておりますので、本日公表しております「特別損失の計上および連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当第2四半期連結累計期間末における当該店舗に係る固定資産の帳簿価額の残高は僅少ですが、現時点では撤退における諸条件が確定していないため、業績に与える影響は未定であります。

当該店舗の閉店に伴う諸費用等について、今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかに公表いたします。

以上